

## 医療介護関連肺炎における重症度・薬剤耐性リスク因子と初期抗菌薬選択が転帰に与える影響

この文書は、大分岡病院 薬剤部が実施する研究「医療介護関連肺炎における重症度・薬剤耐性リスク因子と初期抗菌薬選択が転帰に与える影響」の情報公開を行うものです。この研究に関するお問い合わせは、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

\*医療介護関連肺炎とは普通の肺炎（市中肺炎）とは違う特徴の肺炎です。

以下のような環境にいらっしゃる方がかかりやすいと言われています。

①介護保険施設や長期療養型の病院に入所・入院されている方

②最近90日以内に病院を退院された方

③ご自宅で、医療サービス（訪問看護など）や介護サービスを受けている方

④透析、点滴の抗菌薬治療、抗がん剤治療、免疫を抑えるお薬の治療などを定期的に受けている方

このように、医療や介護と深く関わっている環境にいらっしゃる方がかかる肺炎なので、「医療介護関連肺炎」と呼ばれます。

[研究課題名] 医療介護関連肺炎における重症度・薬剤耐性リスク因子と初期抗菌薬選択が転帰に与える影響

[研究機関] 大分岡病院 薬剤部

[研究責任者] 遠山 泰崇（薬剤師）

[研究の目的] 2024年版成人肺炎診療ガイドラインにおける医療介護関連肺炎の重症度分類および薬剤耐性リスク因子の妥当性を検証します。

[研究の方法] 通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。

1、対象となる患者さん

2023年4月1日～2025年3月31日までに、医療介護関連肺炎で入院し、重症かつ耐性菌リスク因子を有する患者さん

2、予定対象症例数 50例

3、調査項目

対象患者の重症度 (A-DROP) スコア (①年齢、②脱水 (血中尿素窒素 $\geq 21 \text{ mg/dL}$ )、③呼吸不全 ( $\text{SaO}_2 \leq 90\%$  または  $\text{PaO}_2 \leq 60 \text{ mmHg}$ )、④意識障害、⑤低血圧 (収縮期血圧 $\leq 90 \text{ mmHg}$ ))、耐性菌リスク因子 (①経腸栄養、②低アルブミン血症、③過去90日以内の抗菌薬使用歴、④入院後早期の挿管による人工呼吸器を要する、⑤過去90日以内の入院歴、免疫抑制状態 (AIDS、発熱性好中球減少症、血液がん、臓器移植後、生物学的製剤の投与、プレドニゾロン 10 mg/日を2週間以上継続)、患者背景 (性別、基礎疾患、ADL、肺炎球菌ワクチン接種) 初期投与抗菌薬、抗菌薬変更の頻度、投与期間、微生物学的検査結果 (各痰培養のグラム染色、Geckler 分類、培養結果)、入院期間、死亡理由、治療成功率、28日死亡率

4、調査実施期間 2023年4月1日～2025年3月31日

[試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法]

他の機関への試料・情報の提供はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、カルテ番号など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除し、新たに符号をつける匿名化を行います。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

#### [患者さんの費用負担について]

本研究を実施するにあたって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来、薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性がありますが、万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

#### [利益相反について]

この研究は特定の企業からの資金は一切用いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

#### [研究に不同意の患者さんへ]

この研究に同意されない患者さんは、下記までご連絡下さい。

調査対象から外させていただきます。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。



#### [問い合わせ先]

大分県大分市西鶴崎 3-7-11

大分岡病院 薬剤部 遠山 泰崇

電話 097-522-3131 (病院代表) 平日：午前9時～午後5時